

柳城

R y u j o

柳城学院報

第62号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：渋澤 一郎

2017年8月31日



完成予想図

目次

理事長からのメッセージ	2
学長からのメッセージ	3
キャンパス整備計画	4
豊田幼稚園のこども園移行と 建替えについて	5
学院人事	5
二〇一六年度卒業式・卒園式	6
二〇一七年度入学式・入園式	7
チャプレンに就任して	8
同窓会 News	8
りゅうじょうすくすく広場、 始まりました！	9
キッズ紙芝居コンクール	9
附属柳城幼稚園	10
附属豊田幼稚園	11
附属三好丘聖マーガレット幼稚園	12
二〇一六年度 会計報告	13
二〇一七年度 入試結果	14
二〇一六年度 就職状況	14
二〇一八年度 入試概要	15
イベントのお知らせ	16
附属幼稚園情報	16
120年史 — 歴史資料室をご存知でしょうか —	16

最初の柳城生： 杉浦いね

柳

城生第1号

柳城学院は今年創立

119年を迎えました。1898年（明治31）、創立者のマーガレット・ヤング先生が現在の名古屋市東区白壁町の自宅で保母養成を始めたのが柳城学院の始まりになります。次の年の1899年には柳城幼稚園も開設され、ここに名古屋における柳城の幼児教育者養成と幼児教育が本格的に開始されたのです。

では柳城生の第1号は誰だったのでしょうか。その方は「杉浦いね」という女性でした。生徒は彼女一人でした。「柳城学院百年史」によりますと、いねさんは愛知県幡豆郡の出身で、金城女学校を卒



杉浦いね

業したばかりの19歳でした。クリスチャンであったお祖母さんやお母さんの強い勧めで、創立して3年目のミッションスクールであった金城に学んだのでした。

当初、いねさんは柳城の生徒と言うよりもヤング先生の日本語の先生でした。どういういきさつでヤング先生の日本語の先生になったのかは分かりませんが、ヤング先生はいねさんを変容に入ったようです。しかし、いねさんはヤング先生の日本語の先生にはなりましたが、初めから保母になるつもりは全くなく、ご本人は教師を目指し女子高等師範学校に行くつもりでした。しかし、ヤング先生はご自分が始めようとしておられた幼児教育の働きへと彼女を熱心に誘ったのでした。彼女が信頼できる人であり、幼児教育者としての資質も備えていることを彼女の中に

見ていたのでしょう。

いねさんはヤング先生からそのことを聞かされたとき抵抗したそうです。ちゃんとした幼稚園を建てるなら自分は賛成であるが、設備も資金も不足している状況での幼稚園の開設には反対である。自分には保育の勉強もしていないし、そういう気持ちもない」と。

しかし、いねさんは結局ヤング先生の情熱に負け、ヤング先生に協力して幼稚園の開設を手伝い、自らも保育を学び保母の道に進みました。幼稚園は12名の園児募集をしました。当初8名しか応募がありませんでした。しかし、半年もしないうちに入園者が増え、広いところに移らなければなりません。日本に来て3年しか経っていないカナダ人女性と弱冠19歳の少女とによってスタートしたのです。

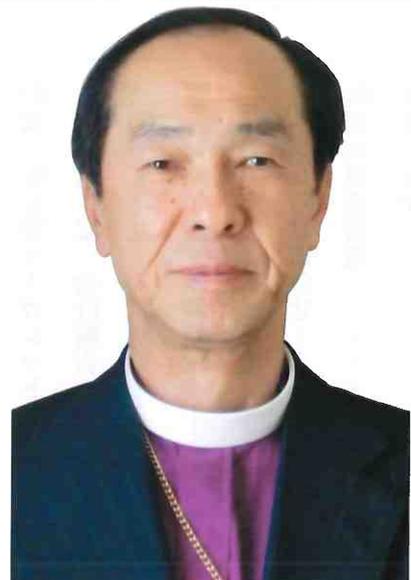
■これからの柳城

二人の女性によって始められた

小さな働きであった柳城は、以来

119年、幼児教育と介護福祉の分野において堅実に実績を残しながら幼児教育界や介護福祉の分野から大きな信頼を得てきました。これからも更なる発展を求めて行きます。来年の創立120周年を迎えるに当たり、今年から様々な計画―教学面での改革、キャンパス整備（校舎の新築等）、附属幼稚園の認定こども園化等―が進められます。

これらの変革はただ単に制度を変えたり、施設を整えるということとを目的としているのではありません。制度や環境を整えるという目に見える部分の充実を図りながら、それ以上に目に見えない部分である建学の精神を再確認し、合わせて学生（園児）と教職員との



理事長
洪澤 一郎

つながり（絆）を更に深めていくことを目指すものです。

教育・保育・介護福祉において最も大切なことは人と人との関わりです。どんなに施設や用具が立派でも、それで教育や保育、介護が十全に行われるわけではありません。それに携わる人が相手への尊敬の念や配慮、思いやり、心の尊厳の念や配慮、思いやり、心遣いといった資質を備えることによって豊かな人間関係が築かれ、素晴らしい教育と保育、介護につながっていくのです。「愛によって互いに仕えなさい」ということはそういうことでもあります。柳城に関わるすべての人々が思いを一つにして120年を迎えましょう。

2017年度の重点課題

柳 城学院はいま多くの課題を抱えています。未来に向かって柳城学院全体で協力しながらひとつひとつの課題を解決していかねばなりません。2017年度は以下の6つの当面の重点課題について努力していきたいと思います。

1. 建学の精神「愛をもって仕えよ」に基づく人間教育
長い歴史の中で培われた伝統と校風「にふさわしい「愛をもって仕えよ」という建学の精神と伝統がいきいきと満ち溢れた学園を構築します。人間に対する深い理解と豊かな人間性を身につけ、人とのつながりを大切にす人間、他者へのやさしい思いやりを持ち、社会に貢献しようとする人間を育てます。新しい大西チャブレンの就任を機に、キリスト教センターを中心に魅力的な礼拝活動の実施、清掃や施設訪問などボランティア活動への積極的参加等柳城学園での学生生活を通し、キリスト教信仰とのかかわりのなかで人としての生き方、建学の精神「愛をもって仕えよ」について学びます。

2. すぐれた入学者の確保と 保育者の育成
日本の少子化が進む中、18歳人口の減少は大学全体に大きな影響を与えており、愛知県の保育系大学・専門学校でも半数以上が入学者の定員割れとなりました。名古屋柳城短期大学では、昨年度は定員を超える入学者を確保することができましたが、今年度は再び定員割れとなりました。すでにオープンキャンパスや高校訪問など全学的な活動がはじまっていますが、専攻科(保育専攻、介護福祉専攻)を含め入学者の確保に全力を挙げます。

3. 魅力的な柳城生活のための キャンパス整備
2018年は柳城学院にとって創立120周年記念の年です。建学の精神と伝統がいきいきと満ち、学生が夢をもって学び学園生活が送れるキャンパス空間を創造します。1号館と2号館の間に6号館を新たに建設し、各階で接続して動線を円滑化、エレベーターの設置によるバリアフリー化、ロッカー室の整備、ピアノ練習室

4. 社会の要請にこたえる 幼児教育・保育の確立
いま日本では、安心して子育てができるための社会体制づくり、特に幼児教育・保育について強い社会的要請があります。附属豊田幼稚園では2019年幼稚園舎の建て替え工事を目指して幼稚園舎の建て替え工事をスタートします。

5. 開かれた大学、地域社会への貢献
名古屋柳城短期大学では、これまでの歴史と伝統を生かし、多くの人材を幼稚園や保育園、社会福祉施設に送りだし、地域社会に貢献してきました。さらに開かれた大学として、体育館や教室、実習設備など大学設備を地域に貸し出すとともに、柳城祭や子供フェスタの開催、また幼児教育研究所の活動を充実し、地域の子育て拠点として赤ちゃん教室や母親教室、紙芝居や絵本の読み聞かせ教室などを開催し、あわせて学生の子育て体験の場として活用します。

6. 業務の効率的運用と ガバナンスの確立
2017年～2019年の3か年は、短大キャンパスの整備、豊田こども園の新築など多額の資金を必要とする事業が続きます。臨時組織企画室を



学 長 長縄 年延

3. 魅力的な柳城生活のための キャンパス整備
2018年は柳城学院にとって創立120周年記念の年です。建学の精神と伝統がいきいきと満ち、学生が夢をもって学び学園生活が送れるキャンパス空間を創造します。1号館と2号館の間に6号館を新たに建設し、各階で接続して動線を円滑化、エレベーターの設置によるバリアフリー化、ロッカー室の整備、ピアノ練習室

4. 社会の要請にこたえる 幼児教育・保育の確立
いま日本では、安心して子育てができるための社会体制づくり、特に幼児教育・保育について強い社会的要請があります。附属豊田幼稚園では2019年幼稚園舎の建て替え工事を目指して幼稚園舎の建て替え工事をスタートします。

5. 開かれた大学、地域社会への貢献
名古屋柳城短期大学では、これまでの歴史と伝統を生かし、多くの人材を幼稚園や保育園、社会福祉施設に送りだし、地域社会に貢献してきました。さらに開かれた大学として、体育館や教室、実習設備など大学設備を地域に貸し出すとともに、柳城祭や子供フェスタの開催、また幼児教育研究所の活動を充実し、地域の子育て拠点として赤ちゃん教室や母親教室、紙芝居や絵本の読み聞かせ教室などを開催し、あわせて学生の子育て体験の場として活用します。

6. 業務の効率的運用と ガバナンスの確立
2017年～2019年の3か年は、短大キャンパスの整備、豊田こども園の新築など多額の資金を必要とする事業が続きます。臨時組織企画室を

2. すぐれた入学者の確保と 保育者の育成
日本の少子化が進む中、18歳人口の減少は大学全体に大きな影響を与えており、愛知県の保育系大学・専門学校でも半数以上が入学者の定員割れとなりました。名古屋柳城短期大学では、昨年度は定員を超える入学者を確保することができましたが、今年度は再び定員割れとなりました。すでにオープンキャンパスや高校訪問など全学的な活動がはじまっていますが、専攻科(保育専攻、介護福祉専攻)を含め入学者の確保に全力を挙げます。

3. 魅力的な柳城生活のための キャンパス整備
2018年は柳城学院にとって創立120周年記念の年です。建学の精神と伝統がいきいきと満ち、学生が夢をもって学び学園生活が送れるキャンパス空間を創造します。1号館と2号館の間に6号館を新たに建設し、各階で接続して動線を円滑化、エレベーターの設置によるバリアフリー化、ロッカー室の整備、ピアノ練習室

4. 社会の要請にこたえる 幼児教育・保育の確立
いま日本では、安心して子育てができるための社会体制づくり、特に幼児教育・保育について強い社会的要請があります。附属豊田幼稚園では2019年幼稚園舎の建て替え工事を目指して幼稚園舎の建て替え工事をスタートします。

5. 開かれた大学、地域社会への貢献
名古屋柳城短期大学では、これまでの歴史と伝統を生かし、多くの人材を幼稚園や保育園、社会福祉施設に送りだし、地域社会に貢献してきました。さらに開かれた大学として、体育館や教室、実習設備など大学設備を地域に貸し出すとともに、柳城祭や子供フェスタの開催、また幼児教育研究所の活動を充実し、地域の子育て拠点として赤ちゃん教室や母親教室、紙芝居や絵本の読み聞かせ教室などを開催し、あわせて学生の子育て体験の場として活用します。

キャンパス整備計画

2010年、北館の建設により教室を増やし、また2014年、3号館の建設により教室・研究室・ピアノサポート室・第2学生ラウンジを確保してきました。

しかし、学生満足度調査等では、まだまだ施設的には十分な満足は得られていない状況です。特に学

食に対する希望はかねてより強くあったのですが、規模やスペース、営業時間(期間)など課題も多く、なかなか学食の開設にはたどり着けませんでした。とにかくできる

ところからと、お弁当の販売、コンビニと連携した自販機の設置、キッチンカーの導入などを図って

きました。

学生用ロッカー棟は狭く、窮屈で集中する時間帯は特に混雑を極め対策を迫られていました。また、1号館と2号館とをつなぐ通路はなく、1号館5階ピアノ教室から2号館の3階まで移動するには一旦1階まで下りて、また上るという大移動が必要でした。

これらの課題解決に向けて、2017年度〜2019年度の3年間をかけて、上記のような短大キャンパスの整備を行っていく予定です。

2017
年度

- 新築** ■ カフェ棟 (仮称)
- 1 階カフェ
 - 2 階ラーニングコモンズ
 - 3 階屋上テラス

- 改修** ■ 5号館の1室を防音化

2018
年度

- 新築** ■ 6号館 (仮称)
- 1 階教室(アクティブラーニング)
 - 2 階ロッカー室
 - 3 階栄養実習室
 - 4 階教室
 - 5 階ピアノ個人練習室

6号館(仮称)の完成により、1号館と2号館が各階とも通路によって結ばれ、水平移動が可能になります。

- 改修** ■ 図書館の改装
- 1号館耐震改修完了

2019
年度

- 改修** ■ 1号館1階に学生支援機能を集中(学生支援センター)
- 3号館1階にキッズルームを移し充実



豊田幼稚園のこども園移行と建替えについて

豊田幼稚園は、柳城学院創立80周年の1978年に開設され、広い園庭と多くの木々に囲まれ自然いっぱい環境の中で多くの子どもたちを送り出してきました。この素晴らしい幼稚園は2019年4月から「幼保連携型認定こども園」として生まれかわります。

幼稚園のある豊田市は産業の盛んな町であり共働きの家庭も多くなってきました。子どもを取り巻く環境がだんだんと変化してきており、豊田市からの働きかけもあり、より地域の方々が利用しやすいこども園へと方向を変えることに昨年5月の理事会で決定しました。

今までの幼稚園は3歳から5歳の子どもを対象としてきましたが、今後0歳から2歳の子どもも受け入れて行きます。2歳以下のこどもについてはお昼寝の面積や自園での調理場が必要となり園舎が手狭になるため、こども園への移行に合わせて全面的に園舎を建替えることにしました。工事の開始は2017年7月。2018年4月から新園舎の一部利用開始。全体の完成は2019年2月頃を

予定しています。現在園舎が建っている場所に新園舎を建てますので、工事期間中は仮設園舎なども利用します。また同期間中は園庭も少し狭くなりますが近くによくつかの公園があり利用できる良い環境にあります。新しくできる園舎は、明るさや風通しを考慮し、多目的室や子育て支援室の設置も考えています。

なお、こども園への移行は、学院創立120周年記念事業としても位置付けていきます。本学院では今までそれぞれの時代に応じて附属幼稚園の運営をしてきました。これは園に通う子どもたちの心と体を育む場所であり、学生にとっては幼稚園児と接する学修と研究の場でもありました。しかし近年の短大卒業生の約半数は保育園（0歳から5歳）に就職し、本学としても0歳から2歳の子どもが集う附属施設を持つことは悲願でした。



そして今回、それも合わせて実現することになります。

現在は新園舎建築を重点的に取り組んでいます。これを続けながら園設置の認可申請、そのための規程類の整備、働き手の確保などを行ってまいります。

卒業生・保護者の皆様、本学院関係者の方々のご理解と、引き続きサポートをいただけるようお願いいたします。

(総務課 岩田牧夫)

学院人事

〔退職〕

2017年3月31日付

短大

特任職員 中村 雅

〔幼稚園〕

柳城幼稚園 教諭 鍋谷 貴子

豊田幼稚園

教諭 近藤早智子
教諭 大江有加里
教諭 織田 亮平
教諭 長江まどか
教諭 江上 円花

三好丘聖マーガレット幼稚園

園長 児玉 文字
教諭 菅 祥子

2017年4月1日

〔採用〕

職員 尾澤 翔子
チャプレン 大西 修

〔幼稚園〕

柳城幼稚園 教諭 海川 皓代

豊田幼稚園

教諭 箕浦 清美
教諭 久松 仁美
教諭 佐野千亜希

三好丘聖マーガレット幼稚園

園長 児玉 文字
(特任)

教諭 神山 晃穂
教諭 堀 由香

〔昇任〕

課長 藤田 憲哉 (図書館)

主任 加藤 実治 (総務課)

〔幼稚園〕

柳城幼稚園 主任 森次 幸代 (総務課)

〔異動〕

〔法人↓短大〕 課長 岩田 牧夫 (総務課)

係長 佐藤 章裕 (総務課)

〔三好丘聖マーガレット幼稚園 ↓ 柳城幼稚園〕

教諭 森次 幸代 (総務課)

理事・監事・評議員

理事長 波澤 一郎

理事 池田 正毅

理事 関 俊子

理事 新海 英行

理事 中尾 志朗

理事 塚田 一宣

理事 長縄 年延

理事 菊地 伸二

監事 日野 忠市

監事 伊藤 秀章

評議員 宮澤 俊夫

評議員 諸岡 研史

評議員 池田 正毅

評議員 塚田 一宣

評議員 関 俊子

評議員 三宅美穂子

評議員 稲吉すみれ

評議員 鎮旗 真弓

評議員 平松ちづ代

評議員 中尾 志朗

評議員 波澤 一郎

評議員 長縄 年延

卒業式

名古屋柳城短期大学2016年度の卒業式が3月17日に挙行され、保育科151名、専攻科保育専攻8名、専攻科介護福祉専攻11名、合計170名に卒業証書、修了証書が授与され、また専攻科保育専攻の8名には学位記も授与されました。式では、後援会会長の金子明恵様より「頑張ること。我慢していること。」も大切だと思いますが、心が弱ってしまうのではないようにしてください。一人で抱え込んで心が弱ってしまわないよう親・友人・先生に相談をしながら、元気に楽しくお仕事に取り組んでください。やりたいことをやるのときに取り組んでいただき、チャレンジしていただけたらと思います。と励ましの言葉をいただきました。また、鎮簾同窓会長より「自分の努力とご縁を大切にしてください。私自身も今は多くの縁に支えられてきました。自分の器を大きく、自分の愛を大きく育てていただきたいと思えます。いろいろチャレンジして成長していただきたいと思えます。誇りと自信を持ち、柳城ブランドを背負って旅立っていただきたいと思えます。」と心強いエールが送られました。

卒業生を代表して下枝桃香さんから、「柳城の学びの中で責任感が生まれ、自らの未来に直結する学びができました。多くの与えられた試練は、乗り越えられる者にしか与えられないという言葉があるように、私たちが乗り越えられると信じ、教え続けてくれた先生方に感謝していま

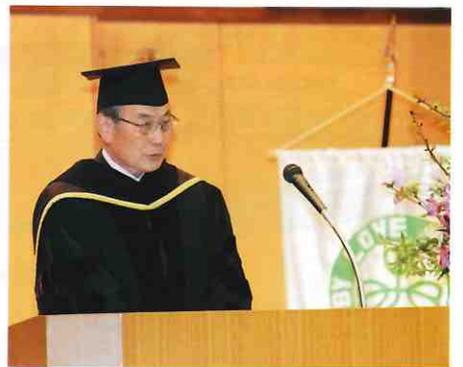
す。明日からそれぞれの道に歩みだします。愛情深く心の広い一人前の大人になるべくすべての出会いに感謝し、これからも学びつづけ成長していきたいと思えます。私たちが多くの方が育ててくれたように、私も小さな息吹に大人への道しるべを示し、明るい未来が切り拓けるように愛を持って仕えていきたいと思えます」と力強く意気込みが述べられました。



式辞

学長 長縄 年延(大要)

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。ご家族のみなさま、心よりお祝い申し上げます。また、今までのご支援に心より感謝申し上げます。柳城の卒業生は、現代までの保育幼児教育の世界で活躍され



大きな功績を残した皆さんの貢献をされてきました。建学の精神「愛をもつて仕えよ」が、良き伝統となり脈々と受け継がれているためだと思います。みなさんも伝統を受け継ぎ、柳城生としての誇りを持って、幼い子どもを愛しみ、子どもたちから慕われ、愛される保育者になって社会に貢献してほしいと願っています。保育園や幼稚園は、地域の子育て支援の拠点としての大きな期待をされています。みなさんは大きな社会的使命を持って、それぞれの職場に就かれることとなります。頑張ってください。東日本大震災から今年で6年になりますが、福島県南相馬市で旅館を再開された女将さんの言葉に「笑うと元気が出る。笑わないと生きられない。今楽しいこと、嬉しいことを見つける。そうすればがんばれるから。」「人は今しか生きられない」。多くの苦難を乗り越え非常に明るい言葉で話をされていたのがとても印象的でした。みなさんも与えられた今という時間を大切に。そして笑顔をお忘れずに、健康で

祝辞

理事長 渋澤 一郎

元気に頑張ってください。柳城は卒業後のみなさんをこれからも応援し続けます。卒業おめでとうございます。また、お子さまを柳城にお送りくださいました保護者の皆さまにも感謝申し上げます。

柳城での新しい世界に学びを終え、いよいよ新しい世界に旅立っていかれます。その新しい道が祝福されたものであることを心から願っています。建学の精神である「愛をもつて仕えよ」をこれからも考え、思いを巡らしていただきたいと思います。

「愛をもつて仕えよ」に繋がっていくのではありませんかと思えます。小さな事には目をつむりがちですが、本来は小さい事、何気ないことが大切なことであると思えますし、これらにきちんと取り組むことが人間の評価に繋がっていくのだと思えます。これからみなさんが小さな事の積み重ねていくことが少しずつ大きな事に繋がります。人間としての評価を高めていくのだと思えます。イエス・キリストも「極小さなことに忠実な者は大きなことに忠実である」とおっしゃっています。これからみなさんは実社会出ていく方。さらなる学びを求めていかれる方もおみえになります。どうか小さ

卒園式

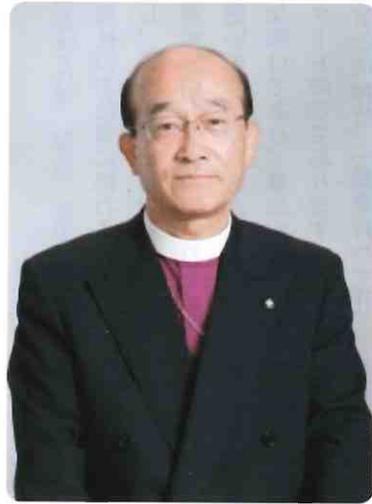
附属幼稚園で卒園式が挙行されました。

多くの保護者・関係者の方に見守られながら、一人ひとりが新たなステージへと旅立っていきました。

3月19日 柳城幼稚園 34名
3月18日 豊田幼稚園 53名
3月17日 三好丘 聖マーガレット幼稚園 55名



チャプレンに就任して



新たに4月からチャプレンとして勤務することになりました大西 修と申します。どうぞよろしくお願いたします。

日本聖公会の聖職の定年(70歳)を過ぎた者がどれだけお役に立つのかどうか心もとなない限りです。ただ柳城との関わりは瑞穂幼稚園入園の時以来もう60年を越えます。大好きな柳城で少しでもご奉仕ができれば、この上ない喜びです。

1951年、御器所幼稚園を卒園し、小学生の頃は以前の名古屋聖マタイ教会で柳城

生にとても可愛がってもらいました。聖公会神学院を出て、最初の勤務が現在の名古屋聖マタイ教会でした。その時、柳城の卒業生とこの教会で結婚式を挙げ、柳城の先生方(私の幼稚園の時の先生がまだ何人かいらっしやいました)や学生さんたちと交わり、また、チャプレンの相澤司祭と聖書の時間を1クラスずつ何年間か担当し、とても楽しい時間でした。

2004年に再び名古屋聖マタイ教会の牧師として赴任し、理事や附属豊田幼稚園のチャプレンを2008年までさせていただきました。このたび9年ぶりに大阪から戻り、短大のチャプレンになりました。

キリストにとらえられ、柳城の教育・保育に大きな足跡を残された先達が、喜びをもって愛の業に

励まれた姿を思い描き、その愛のうちに育ってきたたくさん子どもたち、またその子どもたちから多くを学んだ保育者・保護者たちが今も生き生きと活躍されていることを嬉しく思い、神の絶えざるみ恵みと導きに感謝しています。

2018年は創立120周年に当たる記念すべき年、「愛によって互いに仕えなさい」のみ言葉を教職員・学生一人一人の中で、実りあるものにしていくために、初心に帰って何をなすべきかを考え、少しでも実践できるように自身を見つめ直しつつ、皆さんと共に前進していききたいと切望しています。

(チャプレン)

主教 大西 修



同窓会 News

のぞみの会 会長

みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

私は、柳城短期大学を卒業して幼稚園に就職し、結婚を機に家庭に入りました。それから3人の子どもを育てながら、パートの仕事・子どもの学校の役員・絵本の読み聞かせ・音楽祭の実行委員・同窓会など、いろいろな活動をし、そして大勢の方々とお会いしました。

昨年新たな出会いがあり、私は25年ぶりに保育の場に戻りました。そこで「相手の心に寄り添うチカラ」こそが大切と気づきました。保育・介護の場はもちろん人間社会ではこのチカラが円滑な人間関係を築く上で大切なのだと。これは訓練次第で高められるのだと。

人と人とのご縁というのは本当に不思議なもので、私の人生に影響を与えた方は、パツと思いつくだけで5名いらっしやいます。また細かく思い返せば、お一人お一人と出会うべくして出会い、そし



鎮旗 真弓

て私にとってかけがえのない方々なのです。

これからも私は、人との出会いやタイミングは良いも悪いも大きな力による「お導き」と考え、何か意味があるのだと、抗うことなく受け入れるように、そして心をそっと寄り添わせていきたいと思っております。



りゅうじょうすくすく広場、始まりました!

幼児教育研究所委員会で

は、今年度新たな取り組みとして、「りゅうじょうすくすく広場」を始めました。これは、キッズルーム(201教室)で行う子育て支援事業の総称です。

その活動として、0・1歳児を対象としてキッズルームを開放する「すくすくタイム」、0歳児対象で連続5回行う「あかちゃんクラブ」、本学教員がテーマを決めてお話しする各種講座、読み聞か

せの会などがあります。

4月のオープンの日には、どれくらい来ていただけたのかと期待半分不安半分で迎えました。20組以上のお子さんとその親御さんのおいでいただきました。また、内山先生のゼミの学生によるオーブニングコンサートも開かれ、気持ちの良い歌声に、キッズルームに和やかな雰囲気広がりました。

その後も毎回十数組〜二十数組の参加者があり、「広々としているからたくさん動けてうれしい」

活動名	時間	対象	備考
すくすくタイム	10:00~12:00(通称)	0・1歳児とその保護者	キッズルーム
あかちゃんクラブ	10:00~11:30	0歳児とその保護者	連続5回
読み聞かせ	10:00~11:30	0歳児とその保護者	毎月1回
ミニコンサート	10:30~11:30	0歳児とその保護者	毎月1回
子育て講座	10:00~11:30	0歳児とその保護者	毎月1回
子育て相談	10:00~11:30	0歳児とその保護者	毎月1回

「質の良いおもちゃで遊べる」とうれしのお声をいただいています。子どもたちも、それぞれにお気に入りの遊びやおもちゃを見つけて、「楽しいところ」と感じてくれているようです。

ほとんど毎日キッズルームに赤ちゃんがいるという状況は、学生たちにも良い刺激になっていきます。一年生の多くはただただ「かわいい〜!」とあかちゃんの可愛さに見とれていますが、二年生になると、保育者の視点で子どもの様子を見ようとしていることが感じられます。子どもの存在を身近に感じられるこの広場は、学生たちの学びや保育者への夢に向かうモチベーションにつながる、得難い機会だと感じています。

まだまだ手探りの状態ですが、柳城卒業生のスタッフの皆さんのお力も頂きながら、地域の皆さんに親しまれる場、学生の学びにつながる場作りを模索していきます。

キッズ紙芝居コンクール

第10回キッズ紙芝居コンクールには、350作を超える応募がありました。最優秀作品は、清水優那さんによる「いないいないばあ」でした。温かく伸び伸びとした絵と、「いないいないばあ」ということばの繰り返しが素敵な作品で、表彰式の実演の際には、聞いているお客さんも笑顔で「いないいないばあ」とつぶやいていました。

第11回目となる今年度も、子どもたちの力作を心



附属柳城幼稚園



りものイチヨウの木。これから私たちを見守っていてください。

(主任 森次 幸代)

年長組

とにかく元気いっぱい純粋で素直な子どもらしい青組さん。大好きな戸外遊びでは虫探し、水鬼、ままごと、湖作りと、泥んこになりながら遊びを広げ、子どもたちは夢中になって心を動かし遊び込んでいる。小さな友だちが湖作りに入っていると自分が使っていたスコップを貸してあげたり、やさしく話しかけたり、小さな友だちに手を差し伸べる姿は頼もしい限りです。

自分の事を大切に、友だちの事も大切に、思いやりと優しさを持つて、この一年を過ごして欲しいと思います。「青組さん」と言ってもまだ5年しか生きていない小さな子どもたち。ありのままを受け止め、寄り添いながら、笑顔いっぱいまで過ごしていきたいと思えます。

(年長組担任 加藤 惟奈)

年中組

今年度の黄組は、26人の元気一

杯で笑顔の溢れる子どもたちとスタートです。一つ大きくなったことへの喜びを、それぞれに感じながら過ごしている子どもたち。園庭の花や土の上や中にいる小さな生き物にも興味津々です。枯れた花びらを集め、水の中に入れ、小さな手で一生懸命花びらをこすると、綺麗な色が出てきます。「うわ〜きれい〜」と太陽の光に透かして眺めています。保育室に新たに設置したキッチンコーナーでは、ままごとが大好きな子どもたちが、遊びの時間になると小さなお母さんやお父さんに大変身です。

いろいろなことを経験し、心を動かしながら、子どもたちと一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

(年中組担任 吉田 圭織)

年少組

今年度、月チームと星チームの2つに分かれてスタートした年少赤組は、毎日幼稚園での生活にドキドキワクワクしながら過ごしています。戸外では、元気いっぱい笑顔いっぱいの子もたち。大好きなだろんこ遊びも、虫探しも面白い事ばかりの様子です。また、

毎日の礼拝の時間には、初めて出会う神様の存在に「どこにいるの？」と不思議な気持ちになったり、「神様はみんなのことが大好きなんだよね〜」と温かさを感じたり…それぞれに神様を感じているようです。これから少しずつ、子どもたちと神様からの愛を感じて、生活や遊びの中で、たくさんのお見を一緒に楽しんでいきたいと思えます。

(年少組担任

桑原 奈津・海川 皓代)

満3歳児クラス

満3歳児の担任になり、園生活のスタートの学年としての責任の重さを感じています。月ごとに入

園する子どもたちを迎えるまでの間、園全体の子もたちと関わりつつ満3歳児の担任として、いろいろな本に目を通し、一つ一つ出来ることが増える喜びや嬉しさ、様々なことに挑戦していく力の大きさなど、子どもたちの育ちについて学び直しの日々を過ごしていきます。早く始まらないかなと満3歳の子もたちとの出会いを指折り数えて待っています。毎月新しい友だちを迎える中で、子どもたちが安心して毎日を期待一杯に過ごせるよう笑顔を忘れず、子どもたちの様々な思いと一緒に感じながら、小さな事も丁寧に向き合いたいと思っております。

(満3歳児クラス担任

伊藤 沙恵)





附属豊田幼稚園

満三歳児（もも組）

年少児がクルクルと粘土で団子を作っています。その様子をじっと見ていた《ももさん》も、間もなく団子を作り始めました。

《ももさん》は、友だちや保育者を真似る天才ですね！

身支度や手洗いや食事など日常の場面で聞こえる「ジブンデデキルウ」「ヤッテミルウ」の声。

生活動作の繰り返しで「デキタ！」が積み重ねられ、良い生活習慣が身につきますように…。

《ももさん》のすぐ近くにはいつも年上の園児の姿。目の高さを合わせて話を聞いてくれたり、優しく助けてくれたりしています。

二名でスタートし今は七名になったもも組ですが、「同じバツジだね」「○○ちゃん、来るかな？」等お互いの存在をとても喜びます。せっかくの集団生活ですから友

だちとうんと関わったり、五感を通して周りの環境と出合ったりして、喜びに満ちた毎日になるよう願っています。

（太田）



満3歳児

年少組

年少さんは外遊びが大好きで、登園後の身支度をそそくさと済ませると、「行ってきま〜す」の声。カラー帽子を被ったり運動靴を履くのに少々苦労しつつも、足はどんどん園庭に向かいます。

砂場では山を作り、三輪車に乗って行きたい場所に行き、土と葉っぱや枝でご馳走を作つてままごと遊び、石の下や花の根元を探つて虫探し、等等…

それぞれがお気に入りの遊びと出合い、夢中になっています。

また、先生の側で遊ぶことの多かった年少さんが「△△ちゃん、

遊ぼ」と友だちと誘い合つて遊べるようになったり、ちよっぴり怖くて登れなかったジャンゲルジムに友だちが登る姿を見てチャレンジした年少さんも…

友だちを名前で呼んで、友だちと一緒に過ごす事を心から楽しめるようになりました。

（箕浦・栗田・久松）



年少組

年中組

年少組から進級した人もこの春入園した人も交じり合つて、年中さんの間では新しい友だち関係が育ちつつあります。

クラスを超えて挨拶を交わす声、同じ遊びや活動や読み聞かせの場に居合わせた人同士が感動を共有する声、一緒に遊んだ事が嬉しくてまた遊ぼうねと誘い合う声など、毎日の園生活の中でステキな声がいっぱい！

年中組では今年度、童謡や伝承遊びを取り入れた活動を沢山楽しみたいと思っています。

「先生は皆を守るのが仕事なんですけど」と伝えました。その年長さんは、あっそうか！と納得した様子。列の先頭で先導しようとしたのを急ぎ変更して、皆が進むのを見届けてから列の一番後ろに移動したのです。《見事》

（佐野・高橋）



年中組

年長組

幼稚園の中で一番大きい学年になった喜びが、エネルギーの素。

クラス当番の日の表情もどこか誇らしげで、当番活動に責任感を持ち張り切つて取り組んでいます。

ある日の事。「先生の代わりにくをして欲しい」と頼まれた年長さん。勢いよくあれこれと指示を出し始めました。

それを見た保育者は「エッ!? ドキッ!?」としつとも気を取り直し、「先生は皆を守るのが仕事なんですけど」と伝えました。

立ちたい思いや、自分以外の事柄にもすすんで関わろうとする力が、日々の出来事を通して育っているのを感じています。

（眞野・福田）



年長組



附属三好丘
聖マーガレット幼稚園

とまとぐみ



とまとぐみ

幼稚園の中で一番小さい「とまとぐみ」は2歳児対象の就園前プレスクールです。

初めてお母さんと離れて過ごすので、「ママ」と泣けてしまう時もありますが、幼稚園で楽しそうな事や不思議な事、素敵な事を少しずつ発見しているようです。お部屋の中で遊ぶ事も好きです。



年少組

先生や友だちとの関わりの中でいろいろな発見や経験をしてキラキラ笑顔をを見せてくれるのが楽しみです。

年少組

子ども達は、家庭から離れ初めての集団生活がスタートしました。登園すると『おはよ!』と元気いっぱい挨拶する子や緊張して表



年中組

「小さき手を組み合わせて『神様元気にきたよ』と小さき声で呟く子や空に向かって神様に一生懸命手を振る子もいました。子ども達は神様との出会いを素直に受け止めていました。これからも子ども達の素直な心を一瞬一瞬見逃さず大切に受け止め、一年後今までの皆さんの人たちから受けた愛を今度は周りのお友だちに返す事ができるように素敵な心をもってもらえ

情が固まる子など様々ですが、お部屋に入るとどの子も幼稚園スィッチが入り元気いっぱい園庭を走り回っています。年少の子ども達にとつて、幼稚園の遊具や保育者、お友だちと初めてがいっぱいです。そして、初めての礼拝で子ども達は神様と出会います。『神様、今日も元気いっぱい幼稚園に来られました。ありがとうございます。』と子ども達とお祈りすると、



年長組

今年度の年中の課題は「仲間で育ち合う」です。お友だちとの関わりが多くなっていく年齢でもある年中組では、仲間関係の中でいくつものことを一緒に乗り越えようとしたり、仲間と一緒に考え1つの遊びを進めていこうとしたり、どんどん自分分で遊びを進め、遊びを展開していく事ができるようになっていきます。子ども同士の関わりの中での

と嬉しいです。

年中組

新年度が始まり緊張した表情の子もいましたが、昨年度から一緒にあった友達という事で安心して生活できています。お友だちと一緒に絵具遊びを思い切り楽しむ中で、緊張していた子も心が解放され「楽しいね!」とお友達との会話が弾んでいました。

年長組

関わりの中でしか学べない育ちの時間を大切に日々保育していきたいと思います。

年長組は、4月から1クラス4グループに分かれて実験くん【予想を立て実際に実験をする活動】を行いました。第一弾として『大豆を1日水に浸したらどのように変化する?』子どもたちの予想では「小さくなる」「食べられるようになる」と独特の発想が飛び交い、結果を楽しみにその日は降園しました。次の登園日、子どもたちはタライの中にある大豆を見て「すごい!とビックリしていました。大豆は2倍近くにも膨らんでいたのです。グループの子どもたちと結果を分かち合い感触を楽しんでいました。その延長戦で、今年も『味噌作り』を行いました。作る前に茹でた大豆を食べ、豆本来の味を味わい、その豆を袋に入れ手で潰しました。そして、「米麴・味噌麴・塩」も加え、樽に入れて塩を振りかけました。今後、味噌が出来あがる経過を楽しみに観察します。また、知る・考える・取り組む・記憶する事を活かせるよう子どもたちの成長を楽しみにしていきたいです。

育ち合いを大切に、遊びの中で子ども同士がぶつかり、意見を言い合い時には思い道りにいかない事を経験する中で、心も体も大きく成長して欲しいと願っています。子ども同士の

2016年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

科目		2015年	2016年
収入の部	学生生徒等納付金収入	510,405	526,428
	手数料収入	11,692	10,212
	寄付金収入	9,239	7,077
	補助金収入	243,474	261,007
	資産売却収入	1,048,901	1,783
	付随事業・収益事業収入	42,614	44,572
	受取利息・配当金収入	1,516	491
	雑収入	21,571	14,260
	借入金等収入		
	前受金収入	74,453	61,407
	その他の収入	45,326	18,145
	資金収入調整勘定	△ 74,795	△ 98,335
	前年度繰越支払資金	1,588,155	1,615,730
	収入の部合計	3,522,555	2,462,780
支出の部	人件費支出	529,335	526,859
	教育研究経費支出	183,874	158,862
	管理経費支出	56,668	71,149
	借入金等利息支出	642	488
	借入金等返済支出	9,270	9,270
	施設関係支出	52,613	38,011
	設備関係支出	9,237	40,919
	資産運用支出	1,065,113	1,200
	その他の支出	14,410	13,702
	資金支出調整勘定	△ 14,341	△ 39,541
	翌年度繰越支払資金	1,615,730	1,641,858
	支出の部合計	3,522,555	2,462,780

〔2016年度決算概況〕

- 資金収支状況：短大部門での学生数の微増により「学生生徒納付金」が前年比1千6百万円の増加となりました。又、今年度金利の低下等もあり、短期有価証券の購入を控えた。そのため、「資産売却収入」「資産運用支出」共、その分が前年比減少している。設備関係では、マルチメディア教室PC更新、事務系仮想サーバ構築(短大)3千2百万円分について5年リースとした。そのため、「資金支出調整勘定」の期末未払金が増加している。その関係もあり、翌年度繰越支払資金として、2千6百万円の増加となった。
- 事業活動収支状況：短大の学生数が微増したことにより、基本金組入前の収支差額で2千4百万円のプラスとなり、基本金組入後では1千9百万円の支出超過となった。
- 貸借対照表：総資産は、2千8百万円の増加となりました。流動資産の増加によるものが大きい。

〔学院：事業活動収支差額の経年変化〕

- **事業活動収入**
学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入
 - **事業活動支出**
人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額
 - **基本金組入前当年度収支差額**
事業活動収入－事業活動支出
 - **事業活動収支差額比率**
基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。
- ※ 2015年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支状況

(単位：千円)

科目		2015年	2016年
教育活動収入	学生生徒等納付金	510,405	526,428
	手数料	11,692	10,212
	寄付金	7,049	6,515
	経常費等補助金	241,413	247,766
	付随事業収入	42,614	44,572
	雑収入	21,571	14,260
	教育活動収入計	834,746	849,756
事業活動支出	人件費	523,479	527,873
	教育研究経費	261,899	236,177
	管理経費	58,659	73,322
	徴収不能額等	112	0
教育活動支出計	844,150	837,373	
教育活動外収入	受取利息・配当金	1,516	491
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入計	1,516	491
	事業活動外支出	借入金等利息	642
その他の教育活動外支出計		0	0
教育活動外支出計		642	488
特別収支		資産売却差額	549
	その他の特別収入	5,831	13,871
	特別収入計	6,381	14,238
	事業活動外支出	資産処分差額	1,325
その他の特別支出	0	0	
特別支出計	1,325	2,641	
基本金組入前当年度収支差額	△ 3,474	23,981	
基本金組入額合計	△ 60,046	△ 43,242	
当年度収支差額	△ 63,520	△ 19,260	
前年度繰越収支差額	170,866	107,615	
基本金取崩額	269	0	
翌年度繰越収支差額	107,615	88,355	

貸借対照表の推移

(単位：千円)

科目		2015年	2016年
資産の部	固定資産	2,387,443	2,381,922
	流動資産	1,632,895	1,666,605
	(内、預金)	1,615,730	1,641,858
資産の部合計	4,020,339	4,048,528	
負債の部	固定負債	156,469	167,939
	(内、借入金)	23,370	14,100
	流動負債	103,044	95,781
負債の部合計	259,513	263,721	
基本金の部合計	3,653,209	3,696,452	
翌年度繰越収支差額	107,615	88,355	
負債及び純資産の部合計	4,020,339	4,048,528	



2017年度 入試結果

保育科一七六名、専攻科保育専攻八名、専攻科介護福祉専攻五名の新生が入学しました。この入学者数は本学にとって大変厳しい結果です。

18歳人口の減少、高校生の四大志向、そして、保育者の待遇を含めた職場環境の問題点がマスコミ等で報道されるなど、厳しい外部環境にさらされて

いることも大きな要因と考えます。しかし、この結果を謙虚に受け止め、ハード・ソフトを含めた学生に共感を得られる『柳城』として魅力ある教育環境の整備を行い、教育の質の向上に努めなければならぬと強く感じています。

本学は今年で一九九年を迎え、歴史と伝統に基づく教育内容や学習支援が、社会に認められていると信じております。実習先や就職先の園長先生からは、「柳城生はまじめで明るく素直」、「常に努力を惜しまない保育に取り組む姿勢が良い」、「保育の内容を豊かに受けとめることのできる基礎的な力を持っている」などと高い評価をいただいております。

このように卒業生の皆さんが築き上げた歴史と伝統に想いを寄せて、学生本位の教育や施設・設備の更なる充実を目指していきます。それが新たな柳城の歴史を作る入学生獲得に繋がると確信しています。

身近に保育・幼児教育への進学を希望される方がお見えになりましたら、本学への受験をお勧めいただければ幸いです。

2016年度 就職状況

2016年度卒業生は、就職率100%を達成することができました。以降数字を上げながら説明をします。今年度、保育科、専攻科保育専攻、専攻科介護福祉専攻合わせて170名が卒業・修了しました。そのうち152名が就職しました。そのうち152名が就職を希望し、全員が無事就職をすることができました。

就職先の種別データを見ますと、保育職・介護職で全体の約98.7%を占めました。そのほとんどが正規職員として採用されています。本学に入学する学生は多くが保育者・介護者を目指してきます。二年間の学びを深め、初志貫徹でほとんどの学生が保育・介護職に就職していきます。

また今年度も昨年度と同様に保育・介護職の求人は数多くいただきました。社会問題にもなっている保育士不足を背景に、保育士採用の求人は昨年度同様、増加しました。また保育者の求人増加の要因として「柳城は質の高い保育者を育てている」との評価をいただき、多くの保育現場の先生方から柳城生を求める声をいただいています。

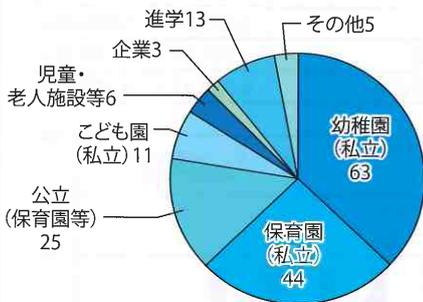
少子高齢化や女性の社会進出が進む現状において、保育者、介護者への期待は

益々高まっています。しかし、そこには保護者や家族が安心して保育者、介護者に任せることができる職員の質の向上が求められます。保育・介護の仕事は実践力の向上が不可欠です。学生のうちから実践力を養う力を身に付ける必要があります。またそのような人材を育てなければ、現場の要望に応えることが出来ません。自ずと授業は厳しく過密なスケジュールにならざるを得ません。しかし柳城生たちは立派に実践力を身に付け、巣立っていくからこそ、現場から柳城出身を取りたいという声上がるのだと思います。

先輩たちが築き上げてきた古き良き伝統をこれからの柳城生たちも身に付け、立派に巣立ってほしいと思っています。少しでもその力になれるように就職課として日々精進したいと思っています。

2017年3月31日現在 (人)

DATA 2017年度卒業生 170人



	卒業者数 (人)	就職希望者 (人)	就職率 (%)	進学者 (人)	就職希望なし (人)	
保育科	151	134	100	12	5	
専攻科	保育専攻	8	7	100	1	0
	介護福祉専攻	11	11	100	0	0
計	170	152	100	17	2	

2018年度 入試概要

本学の入学試験には、公募制推薦A入試（専願）、公募制推薦B入試（併願）、公募制推薦C入試（併願）、AO入試、一般A入試、一般B入試、一般C入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の試験があります。この中の特別推薦入試には、「同窓生推薦入試」と「キリスト教会推薦入試」が含まれています。まず、「同窓生推薦入試」は、本学を卒業された方のお子様、兄弟・姉妹を推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者のすべての方に対して、入学金が免除される特典があります。次に「キリスト教会推薦入試」ですが、「同窓生推薦入試」と同様に、合格者のすべての方を対象に入学金が免除されます。

このように本学は、多様な入試を実施しておりますので、自分に合った入試を選んでいただきたいと思います。入試広報課では、入試に関する相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

(入試広報課)

試験区分		募集人員	出願期間	入学試験日	合格通知 発送日
推薦試験	公募制推薦A 入学試験（専願）	40	2017年9月25日（月）～10月6日（金）	10月14日（土）	10月18日（水）
	公募制推薦B 入学試験（併願）	20	2017年10月30日（月）～11月10日（金）	11月18日（土）	11月22日（水）
	公募制推薦C 入学試験（併願）	10	2017年11月27日（月）～12月8日（金）	12月16日（土）	12月20日（水）
AO入学試験		30	2017年9月1日（金）～9月15日（金）	9月23日（土・祝）	9月27日（水）
一般A入学試験		30	2018年1月10日（水）～1月19日（金）	1月27日（土）	1月31日（水）
一般B入学試験		30	2018年1月10日（水）～1月22日（月）	1月27日（土）	1月31日（水）
一般C入学試験		5	2018年2月13日（火）～2月23日（金）	3月3日（土）	3月6日（火）
特別選抜	社会人入学試験	若干名	2018年1月10日（水）～1月19日（金）	1月27日（土）	1月31日（水）
	帰国生徒入学試験 私費外国人留学生 入学試験	若干名	2017年9月25日（月）～10月6日（金）	10月14日（土）	10月18日（水）
		若干名	2018年1月10日（水）～1月19日（金）	1月27日（土）	1月31日（水）
特別推薦	指定校推薦入学試験	35	2017年10月23日（月）～11月2日（木）	11月11日（土）	11月15日（水）
	キリスト教会 推薦入学試験	若干名	2017年9月25日（月）～10月6日（金）	10月14日（土）	10月18日（水）

同窓生推薦入学試験

※入学金が免除されます。

募集人員	若干名			
出願資格	親または兄弟姉妹が本学卒業生、在 student で次の要件を満たすもの 1. 高等学校もしくは中等教育学校を2018年（平成30年）3月卒業見込みのもの 2. 本学を専願とする者 3. 高等学校最終学年第1学期または前期までの全体の評定平均値が3.2以上の者 4. 出願時までの欠席日数が25日以内の者 5. 出願時のピアノ演奏能力がハイエルを修了している者			
試験内容	面接・書類審査			
選抜日程	出願期間	2017/9/25（月）～10/6（金）	試験日	10/14（土）
	可否通知発送日	10/18（水）	入学手続期間	10/19（木）～10/26（木）

ホームカミングデー・オープンキャンパス同日開催

イベントのお知らせ

- 柳城祭
 - りゅうじょう
子どもフェスタ
 - オープンキャンパス
 - ホームカミングデー
- 同時開催

ホームカミングデー

2017年
11月3日(金・祝)
10:30 ~ 12:00

同窓生の語らいの場として、ホームカミングデーを開催。普段、なかなか会うことのできない仲間に出会えるかも…。お茶菓子などを用意してお待ちいたしております。

りゅうじょう 子どもフェスタ

2017年
11月3日(金・祝)
10:30 ~ 12:00

2年生が“造形表現”“音楽表現”“身体表現”の3つのグループに分かれて実践します。

柳城祭 2017年
11月2日(木)~3日(金・祝)
10:00 ~ 15:00 (予定)

両日ともに
一般開放します。

2017 オープン キャンパス情報

見て・聞いて・話して
感じてください 柳城を!!

11月3日(金・祝)

10:00 ~ 15:00

主な当日の内容

- 個別相談
 - 入 試
 - 就 職
 - 学生生活 等
- 公募制推薦 B・C 入試対策講座

附属幼稚園情報

運動会

- 柳城幼稚園
10月14日(土)
- 豊田幼稚園
10月7日(土)
- 三好丘聖マーガレット幼稚園
10月7日(土)

子育て 支 援

各園にて子育て支援事業に取り組んでいます。ぜひお問い合わせください。

- 柳城幼稚園 (052) 951-5080
- 豊田幼稚園 (0565) 80-0198
- 三好丘聖マーガレット幼稚園(0561) 36-8373

新入園児 お知らせ

- 入園説明会
柳城幼稚園 9月9日(土)
豊田幼稚園 9月7日(木)・9月9日(土)
三好丘聖マーガレット幼稚園 9月16日(土)
- 入園願書受付
柳城幼稚園 10月2日(月)
豊田幼稚園 10月2日(月)
三好丘聖マーガレット幼稚園 10月2日(月)
- 入園願書配布
9月1日(金)

120年史

歴史資料室を ご存知でしょうか

歴史資料室は、『柳城学院100年史』を編纂するにあたって沢山の資料が集められたことにより、この資料の整理と保管、編纂のための部屋として設けられました。年史発行後も、部屋の移動はありましたが資料の保管と収集は続き、専用の資料収蔵室が確保され、展示コーナーも設けることができました。柳城学院の歴史と伝統をコンパクトにまとめた展示コーナーは、本年四月から皆様にご覧いただけるようになりました。ぜひお越しください。

柳城学院は、来年迎える創立一二〇周年にむけて、『柳城学院一二〇年史』の編纂を始めています。歴史資料室ではこれに合わせ、柳城学院と園児、学生、職員としてかかわった方々に、当時の資料(思い出話、教科書、ノート、制作帳、園、学校の発行人物、写真など)のご提供をお願いしています。ご本人に限らず、ご家族、親類あるいは知人からのご提供もお待ちしています。

【開 室 日】

火曜、金曜日午前十時から午後四時まで。大学行事などで閉室もありますので、事前にご確認ください。

【問い合わせ】

〒466-0034
名古屋市昭和区明月町2-54
名古屋柳城短期大学 歴史資料室 浅井鏡志
図書館(資料室不在時)